

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			38
	客観性	思考的思慮深い			55
活動型	身体性	機敏な・気軽な			64
	気分性	感情のまま行動			47
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			66
	規則性	常識的・順法的			36
積極型	競争性	勝気な・積極的			50
	自尊心	気ぐらいが高い			66
自制型	慎重性	見通しをつける			69
	弱気さ	取越苦労・遠慮			51

■この人の中心性格は「自制・慎重性」および「努力・持続性」であるが、「積極・自尊心」や「活動・身体性」といった側面も本人は意識している。

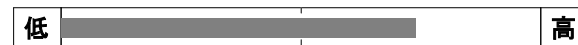
●「自制・慎重性」及び「努力・持続性」の人のパーソナリティスケッチ  
 他の人がなんと言おうと自分で確信がもてるまで、決して行動には移さない慎重なところがある。軽はずみな行動は少なく、落ち着いた雰囲気と信頼感がある。また、努力を信条とし、何事も丹念に取り組んでいこうとする。出だしはそれほどでもないが、いつまでも持続させることができる。生活ぶりもキチンとしていて、物事は計画書を書いて実行するようなマメな人である。しかし、あくまでも一つのことに執着する頑固さではなく融通性も持っている。それほど規則や秩序を気にするわけではなく、状況に応じた判断ができる。世間の常識はわきまえていても、四角四面で固定的なものでなく、よき社会人として模範的な見方をされる。しかし、慎重であるがゆえ、問題が起こると必要以上に自分を責めることがある。その後は二度と同じ失敗をしないように考えすぎて、行動は控えめになることがある。もう少し、図太さがあり積極的にうってでるところがあると安心して見ていられるリーダーになる。しかし、手堅さや慎重さなど評価できる部分は多い。

●もう一方の性格特性  
 規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、固定的な発想ばかりでなく、柔軟な考え方ができる。ルールにしばられてコチコチなわけでもなく、気ままな生活ぶりである。ただ、社会秩序を気にしないことが何に関係するか見極めが必要かも知れない。

2 ストレス耐性

ストレスの種類	弱	強	指数
対人ストレス耐性			44
目標ストレス耐性			57
繁忙ストレス耐性			58
拘束ストレス耐性			39
総合ストレス耐性			48

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、およその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			52
協調性			40
責任感			66
自己信頼性			47
指導性			44
共感性			40
感情安定性			49
従順性			26
自主性			65
モラリア傾向			65

意見が衝突して、対人関係で問題を起こす可能性もある。自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つとする。

仲間と協同で何かをするより、独自でできることを好む。

強く命令されたりすると、その相手に対して反感をもつ。自分で決断をすることができ、自発的に物事を実行する。今の考えや生き方について、確信がつかめず悩んでいる。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			71
自律 欲求			59
求知 欲求			41
危機 耐性			57
勤労 意欲			61
顕示 欲求			55
支配 欲求			41
親和 欲求			33
秩序 欲求			52
物質的欲望			61

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。

仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

世の中は実力と努力が大切で、友は能力のある人を選ぶ。

モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。

■この人は「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群となっている。逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。